

DUK-W67D (08607-K9001)

MONITOR WITH DVD RECEIVER 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。 ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。 また、この取扱説明書は大切に保管してください。 本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

ダイハツ工業株式会社













目次

安全上のご注意 (必ずお守りください)	4
使用上のご注意	7
本機の異常にお気づきのときは 本機のお手入れについて モニター画面について	7
免責事項について 雷波について	

基本操作編

本機の基本操作方法を説明します。まずはここから覚えましょう。

共通の操作	9
各部の名称とはたらき 画面操作と切り替えかた 電源をオン/オフする 音量を調節する ソースを切り替える システムを設定する ポップアップメニューで切り替える	9 10 12 12 12
はじめの設定	13
初期設定をする 時計を合わせる パネルの角度を調整する	13

ソース別操作編

ラジオやDVDなどソース別に操作方法を説明 します。

CD	15
音楽CDを再生する	15
オーディオ/ビデオ/	
ピクチャファイルディスク	16
ファイルを再生する 設定を変更する 再生するファイルをリストで選択する	18
DVD	20
DVDビデオ/DVD-VRを再生する ディスクメニューを操作する DVDセットアップメニューを表示する	22
ビデオCD	24
ビデオCDを再生する 曲番号を指定して選曲する	
ラジオ	26
ラジオを聞く・操作する 放送局を自動登録する(オートメモリー) 受信中の放送局を1つずつ登録する	
(ブリセットメモリー) ************************************	28
USB	
ファイルを再生する 設定を変更する 再生するファイルをリストで選択する	32
iPod/iPhone	34
iPod/iPhoneを再生する 設定を変更する 再生するファイルをリストで選択する	36
Android	38
Androidを再生する	38
外部AV機器	39
外部AV機器の映像を見る/音を聞く	39

機能設定編

画面やオーディオ、表示設定など本機の機能を 設定します。

使用上のご注意 バックモニターを使う 3モードカメラを使う パノラマモニターを使う	40 42 44
メニューコントロール	46
メニューコントロールを設定する 映像ソースの画質を調整する 画面モードを設定する ズームで画面を拡大する	47 48 49
オーディオ設定	50
オーディオ設定をする	50 51 52 53 54
画面設定	57
画面を設定するイルミネーション色を設定する 背景画像を読み込み変更するソースアイコンを好きな順番に並べる 画面の明るさを調節する	58 59 60
システム設定	61
システムを設定する 設定を保存する/呼び出すタッチ位置を調整する	62
Bluetooth	64
Bluetooth機器の使用にあたって	64 68 73

資料/接続/取り付け編

本機で使用できるディスクなどの資料や本機 の接続/取り付け方法を説明します。

- DVD言語コード表	75
DVD言語コード表	75
ディスクについて	76
本機で再生できるディスクメディア DVDのリージョン番号 操作規制マークについて 使用できないディスク ディスクの取り出しかた ディスクの取り扱いについて ディスクのお手入れ	76 76 77 77
ディスクの保存 ディスク用アクセサリーについて レンズクリーナーについて 結露について	77 77 77
メディアおよびファイルについて	78
本機で再生できるメディア 本機で再生できるオーディオ/ ビデオ/ピクチャファイル	
Androidについて	
本機でコントロールできるAndroidにこ Androidの接続ケーブルについて	
故障かな?と思ったら	81
用語解説	86
用語解説	86
商標	87
仕様	88
保証とアフターサービス	01

安全上のご注意(必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくこと を説明しています。

• 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示してい ます。
<u>⚠</u> 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害 のみの発生が想定される内容を示しています。

• お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

\triangle	注意(しなければならない)の内容です。	
\Diamond	禁止(してはいけない)の内容です。	
0	実行(かならず行っていただく)の内容です。	

使用方法について

⚠警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。



機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火 災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからな いようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、 異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火 災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを引いた状態でで使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店に依頼してください。

注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠警告



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相 談する

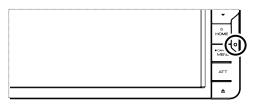
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

使用上のご注意

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」(→ P.81)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本 機の電源を切り、お買上げの販売店へ相談してください。



本機のお手入れについて

画面や操作ボタンが汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。 硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。 傷が付いたり文字が消えることがあります。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の 原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点がでることがあります。これは液 晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によって は表示が見づらいことがありますが、故障ではあ りません。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる画面や、実際には 行えない例が記載されている場合があります。

雷波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム 無線局設備として技術基準適合証明を受けています (受けた部品を使用しています)。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解/改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の 無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、 下記事項に注意してで使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構 内無線局および特定小電力無線局、並びにアマ チュア無線局が運用されていないことを確認し てください。
- 2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
- 3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

• 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

24:24GHz帯を使用する無線機器です。

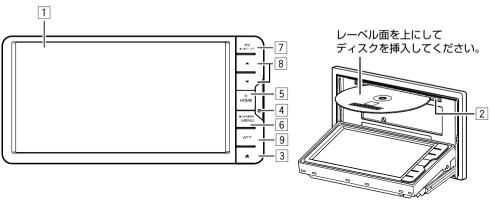
FH: FH-SS変調方式を表します。

帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約10 mです。 鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、 VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の 近く。音声や映像にノイズがのることがありま す。
- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。
 重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

共通の操作

各部の名称とはたらき



番号 名前/本書での表記	動作
1 画面	映像や操作画面を表示します。画面に出るボタンやアイコンにタッチして 本機を操作します。
2 ディスク挿入口	ディスクのレーベル面を上にして差し込みます。
イジェクトボタン <a>3	ディスクを取り出します。ディスクを取り出さないと、約15秒で自動的に引き込まれます。パネルをオープンまたはクローズします。
4 リセットボタン	本機をリセットします。(→ P.7)
HOMEボタン 5 HOME	・本機の電源をオンにします。1秒以上押すと本機の電源をオフにします。・電源がオンのときに押すと、ホーム画面を表示します。(→ P.10)
MENUボタン MENU	 ポップアップメニューを表示します。(→ P.12) 1秒以上押すと、グライノトツを正バックモニター、グライノトツを正3モードカメラ、またはグライノトツを正パノラマモニターの映像を表示します。(→ P.42、P.43、P.44)
AVボタン 7 AV	選択しているソース画面を表示します。1秒以上押すと画面表示をオフします。画面表示がオフ中は画面にタッチすると画面を表示します。
8 ボリュームボタン	音量を調節します。
9 ATTボタン	・押すと音量を一時的に小さくします (アッテネーター)。アッテネーター中は"ATT"と表示します。もう一度押すとアッテネーターを解除します。

画面操作と切り替えかた

ホーム画面

本機の操作はここからスタートします。画面にタッチして、ラジオなどのソースを選択したり、 全ソース画面、設定画面、ソース操作画面などに切り替わります。

ホーム画面



全ソース画面(全てのソースを表示します。)



- 11 全ソース画面に切り替わります。
- ② 現在選択しているソース操作画面に切り替わります。
- ③ 時計設定画面に切り替わります。
- 4 設定画面に切り替わります。
- 5 ホーム画面に切り替わります。

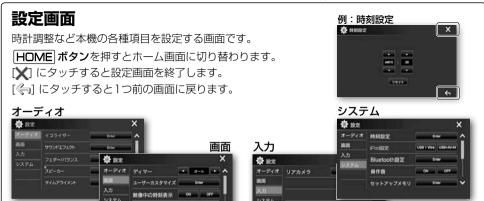
- ラジオ、ディスク、iPodなどを本書ではソースと呼びます。
- AV-IN (外 部AV機 器)は、iPodの[iPod設 定]が
 "USB 1Wire" の場合に選択できます。
- STANDBY(スタンバイ)は何も再生していない状態です。

HOME



HOMEカスタマイズ





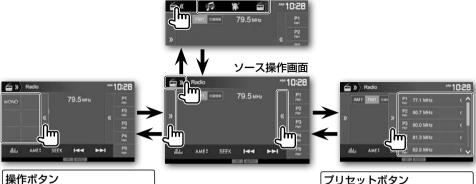
ソース操作画面

選択したソースの操作画面です。

HOMF ボタンを押すとホーム画面に切り替わります。

ショートカットメニューボタン

ホーム画面に戻らなくても、ホーム画面の大きな3つのソースアイコンのソースに切替えることができ ます。タッチするごとに表示を切替えます。

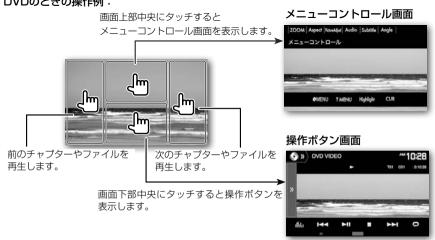


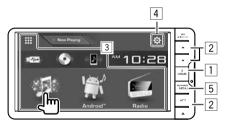
ソース操作画面に表示していな い操作ボタンを表示します。タッ チするごとに表示を切替えます。

プリセットボタン

ラジオなど登録した放送局をリ スト表示します。タッチするご とに表示を切替えます。

DVD/ビデオCD/USB機器/iPodなど、映像再生中は画面にタッチして操作画面を呼び出します。 DVDのときの操作例:





ポップアップメニュー



□ 電源をオン/オフする

HOME ボタンを押して本機の電源をオンにします。 1秒以上押すと本機の電源をオフにします。

② 音量を調節する

ボリュームボタンを押して音量を調節します。

音量を一時的に小さくするには...

ATTボタンを押します。

音量を一時的に小さくします(アッテネーター)。アッテネーター中は"ATT"と表示します。もう一度押すとアッテネーターを解除します。

③ ソースを切り替える

アイコンにタッチして再生するソースを切り替えます。 ホーム画面が表示されていないときは、HOME ボタンを押します。

- ラジオ、ディスク、iPodなどを本書ではソースと呼びます。
- 「鼺」にタッチすると全ソース画面に切り替わります。
- STANDBY(スタンバイ)は何も再生していない状態です。

4 システムを設定する

時計調整など本機の各種項目を設定する画面に切り替えます。(→ P.10)

⑤ ポップアップメニューで切り替える

MENU ボタンを押すとポップアップメニューを表示します。もう一度押すと、元の状態に戻ります。 画質調整やリアカメラなどを簡単に呼び出すことができます。

Screen Adjustment	画像調整または画質調整画面を表示します。 (→P.47、P.60)
Display OFF	画面表示をオフします。画面表示がオフ中 は画面にタッチすると画面を表示します。
Camera	イゴイノハツを在正 バックモニター、 イブイノハツを在 3 モードカメラ または イゴイノハツを在 パノラ マモニターの映像を表示します。 (→ P.42、P.43、P.44)
SETUP	設定画面を表示します。(→ P.10)
Current Source	現在選択しているソース操作画面に切り替わります。(→ P.11)

はじめの設定

初期設定をする

初めて電源をオンしたときや、リセットボタンを押したときは初期設定画面を表示します。必要であれば、リアカメラなどの設定を行います。

1 電源をオンする

2 各項目を設定する



3 [終了] にタッチして終了する

設定項目

パネル角度 調整	フロントパネル (→ P.14)	の角度を調整します。
iPod設定*1	USB 1Wire*	iPod/iPhoneの音楽 を楽しむときに選択 します。
	USB + AV-IN	iPod/iPhoneの映像 と音楽を楽しむとき に選択します。
リアカメラ	リアカメラの設 (→ P.40)	定をします。
¬ + +	操作ボタンのイ	ルミネーション色と画

面の背景画像を設定します。

(→ P.57)

*お買い上げ時の設定



ユーザーカ

スタマイズ

 *1 iPhone 6s,iPhone 6s Plusなどの Lightning™コネクタ搭載モデルをご使用に なる場合は[iPod設定]を"USB 1 Wire"に設 定します。iPod設定は「システム設定」から も設定できます。(→ P.61)

時計を合わせる

時計を合わせます。 時計は12時間制で表示します。

- **1** HOME ボタンを押して、ホーム画面を 表示させ[♠]にタッチする
- 2 [システム]にタッチする



☆ 時刻設定の「Enter」にタッチする



▲ 時刻を合わせる



- [▲]/[▼]にタッチして、時を調整します。
- [2] [▲]/[▼]にタッチして、分を調整します。
- ③ [リセット] 00分に合わせます。

例: 3:00 - 3:29 **⇒** 3:00 3:30 - 3:59 **⇒** 4:00

5 [X]または[</br>
する

パネルの角度を調整する

画面が見やすくなるようにパネルの角度を調整します。また電源をオフしたときのパネル角度も 登録できます。

¶ 好きな角度(0~6)にタッチする



電源をオフしたときのパネル角度を登録するときは、パネル角度調整を設定した後、[保存]にタッチします。

2 [🖒] にタッチして終了する



パネル角度調整は「画面設定」からも調整できます。(→ P.57)



音楽CDを再生する

ディスクのレーベル面を上にして、ディスクを ディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動 で再生します。

ロディスクに切り替える

HOME ボタンを押して、ホーム画面または 全ソース画面を表示させ、「DISCIにタッチする。

➡ ディスクを取り出すときは...

▲ (イジェクト)ボタンを押す。

【CD再生画面】



- 1 曲名/アーティスト名/アルバム名表示(テキスト情報が入っていると表示します。)表示するテキスト情報が多い場合は[く]にタッチするとスクロール表示します。
- ② [》] にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



- 「《门にタッチすると操作ボタンを消します。
- 3 演奏時間
- ④ ディスク表示(ディスクが本機にセットされていると"IN"と表示します。)
- 5 再生状態表示

- 6 リピート/ランダム再生表示
- 7 トラック番号

操作ボタンのはたらき

イコライザー画面を表示します。 (**→ P.50**)

前または次の曲を再生します。 ▶ タッチし続けると、早送りまたは早戻し します。

■ 再生を停止します。

▶■ 再生または一時停止(ポーズ)します。

ランダム (RDM) 再生をオン/オフします。オンのときには、CDの全曲が順不同に再生されます。

リピート(REP)再生をオン/オフします。オンのときには、現在再生中の曲が 繰り返し再生されます。



- ランダム再生、リピート再生がオンのときには、再生の状態を表示します。
- ランダム再生、リピート再生は同時に選択できません。

オーディオ/ビデオ/ピクチャファイルディスク

ファイルを再生する

ディスクのレーベル面を上にして、ディスクを ディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動 で再生します。

ロディスクに切り替える

HOME ボタンを押して、ホーム画面または 全ソース画面を表示させ、「DISC1にタッチする。

⇒ ディスクを取り出すときは...

▲ (イジェクト)ボタンを押す。

オーディオファイルの再生

【オーディオファイル再生画面】



- 11 アルバムアート画像
- ② 曲名/アーティスト名/アルバム名表示(テキスト情報が入っていると表示します。) 表示するテキスト情報が多い場合は[<]に タッチするとスクロール表示します。
- ③ [》] にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



「《] にタッチすると操作ボタンを消します。

4 演奏時間

- ⑤ ディスク表示(ディスクが本機にセットされていると"IN"と表示します。)
- 6 再生状態表示
- 7 リピート/ランダム再生表示
- 8 ファイルの種類表示
- 9 フォルダ番号
- 10 ファイル番号

操作ボタンのはたらき

再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます。(→ P.19)

前または次のファイルを再生します。 I◀◀ / ▶▶I タッチし続けると、早送りまたは早戻し します。

▶Ⅲ 再生または一時停止(ポーズ)します。

タッチするたびにフォルダ(FO-RDM)/ 全ファイル(RDM)/オフを切り替えま す。オンのときには、フォルダ内または 全ファイルが順不同に再生されます。

前のフォルダの先頭のファイルから再 生します。

次のフォルダの先頭のファイルから再 生します。

ルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。 オンのときには、現在のファイルまた はフォルダ内のファイルが繰り返し再 生されます。

タッチするたびに1ファイル(REP)/フォ

■ 再生を停止します。

再生したいファイルの種類や外部接続 MODE するモニタータイプを設定します。 (→ **P.18**)



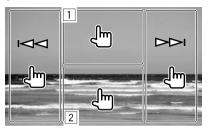
- ランダム再生、リピート再生がオンのときには、再生の状態を表示します。
- ランダム再生、リピート再生は同時に選択できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。

ビデオ/ピクチャファイルの再生

【ビデオ/ピクチャファイル再生画面】



【ビデオ/ピクチャファイル再生画面(スキップ)】



- 11 画面上部中央にタッチすると、メニューコント ロール 画面が表示されます。(→ P.46)
- 2 画面下部中央にタッチすると、操作ボタンが表 示されます。



- 1 再生状態表示
- 2 フォルダ番号
- 3 ファイル番号
- 4 演奏時間

タンを表示します。



- 「ℳ1にタッチすると操作ボタンを消します。
- 同 ディスク表示 (ディスクが本機にセットされて いると"IN"と表示します。)
- 7 リピート/ランダム再生表示
- 8 ファイルの種類表示

場作ボタンのけたらき

:	床ドボタンのほだらさ		
	allala.	イコライザー画面を表示します。 (→ P.50)	
	Q	再生リストを表示します。再生す イルを選択できます。 (→ P.19)	

前または次のファイルを再生します。 ビデオファイルのときは、タッチし続け

- ると、早送りまたは早戻しします。 ▶II 再生または一時停止(ポーズ)します。
- タッチするたびにフォルダ(FO-RDM)/ 全ファイル(RDM)/オフを切り替えま X す。オンのときには、フォルダ内または 全ファイルが順不同に再生されます。
- 前のフォルダの先頭のファイルから再 生します。
- 次のフォルダの先頭のファイルから再 + 生します。

タッチするたびに1ファイル(REP)/ フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。 オンのときには、現在のファイルまた はフォルダ内のファイルが繰り返し再 生されます。

再生を停止します。

再生したいファイルの種類や外部接続 MODE するモニタータイプを設定します。 (→ P.18)



- ランダム再生、リピート再生がオンのときに は、再生の状態を表示します。
- ・ ランダム再生、リピート再生は同時に選択で きません。
- ・ 走行中は、ビデオ/ピクチャファイルの映像は 映りません。

るファ

設定を変更する

再生したいファイルの種類や外部接続するモニタータイプを設定します。

【 [测] にタッチして操作ホタンを表示させてから、「MODEIにタッチする



ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチして操作ボタンを表示させて、「MODEIにタッチします。





2 各項目を設定する





3 [<] にタッチして終了する

設定項目

16:9/4:3LB/4:3PS

*お買い上げ時の設定



タイプ

・ ディスク再生に必要な設定項目のみ記載して います。

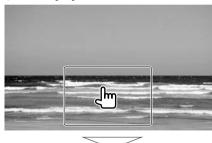
再生するファイルをリストで 選択する

再生するファイルを選択します。

1 [②] にタッチする

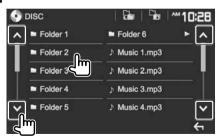


ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画画下部中央にタッチして操作ボタンを表示させて、「Q]にタッチします。





2 フォルダを選んでタッチする



[▲]/[★]にタッチするとリストを移動します。 ファイルのリストが表示されるまで繰り返しま す。

3 再生するファイルを選んでタッチする



選択したファイルが再生されます。



- リストに表示されるファイルは「設定を変更する」のファイルタイプで選択した種類のファイルが表示されます。(→ P.18)
- 選んだフォルダの下位にさらにファイルがあるときは、
- [] にタッチすると最上位階層へ [] に タッチするとリストの1階層上に戻れます。



DVDビデオ/DVD-VRを 再生する

ディスクのレーベル面を上にして、ディスクを ディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動 で再生します。

ロディスクに切り替える

HOME ボタンを押して、ホーム画面または 全ソース画面を表示させ、「DISC1にタッチする。

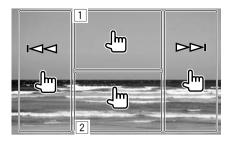
⇒ ディスクを取り出すときは...

▲ (イジェクト)ボタンを押す。

【DVD再牛画面】



【DVD再生画面(スキップ)】



- □ 画面上部中央にタッチすると、メニューコントロール 画面が表示されます。(→ P.21)
- ② 画面下部中央にタッチすると、操作ボタンが表示されます。



- 1 再生状態表示
- 2 タイトル番号
- ③ チャプター番号
- 4 演奏時間
- ⑤ [》] にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



「《()にタッチすると操作ボタンを消します。

- ⑥ ディスク表示(ディスクが本機にセットされていると"IN"と表示します。)
- 7 リピート再生表示

操作ボタンのはたらき

allila	イコライリー画画を衣がします。 (→ P.50)
 /	前または次のチャプターを再生します。 タッチし続けると、早送りまたは早戻し します。

イコライザ<u>ー</u>両面を基元します

▶■ 再生または一時停止(ボーズ)します。

再生を停止します。

タイトル(T-REP)/チャプター(C-REP) リピート再生をオン/オフします。オン のときには、現在のタイトルまたはチャ プターが繰り返し再生されます。

MODE DVDセットアップメニューを表示します (→ **P.23**)。



・ 走行中は、ビデオの映像は映りません。

【メニューコントロール画面】



操作ボタンのはたらき

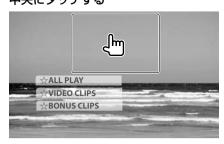
ZOOM	再生画面を拡大します。 (→ P.48)
Aspect	画面モードを変更します。 (→ P.48)
PictureAdjust	画質を調整します。(→ P.47)
Audio	音声の言語を切り替えます。
Subtitle	字幕の言語を切り替えます。
Angle	アングルを切り替えます。
	ディスクメニューを表示します。 (→ P.22)
T MENU	ディスクのトップメニューを表示し ます。(→ P.22)
Highlight	ディスクメニューをダイレクトに画 面のボタンにタッチして選択します。 (→ P.22)
CUR	ディスクメニューをカーソルで移動 して選択します。(→ P.22)

ディスクメニューを操作する

DVDビデオのディスクに収録されたメニュー (ディスクメニュー)を操作します。

カーソルで操作するときは…本機が表示するボタンで操作します。

1 ディスクメニューの表示中に画面上部 中央にタッチする



2 [CUR] にタッチする



3 各ボタンにタッチして操作する



操作ボタンのはたらき

★ カーソルを移動します。
 Return ディスクメニューの1階層上の項目を表示します。
 Enter 項目の選択を決定します。
 DVD操作ボタンの画面に戻ります。

ダイレクトに操作するときは...

ディスクメニューの項目にタッチして操作する。

■ 前項2で[Highlight]にタッチする



2 画面にタッチして操作する



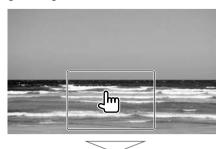


- 表示されるディスクメニューは再生しているDVDに固有のもので、操作できる内容はDVDによって異なります。
- ダイレクト操作を中止するときは、[条]に タッチします。

DVDセットアップメニューを 表示する

DVDに関する各種の設定を行います。

画面下部中央にタッチして、操作ボタンを表示させて[》] にタッチしてから [MODE]にタッチする





2 各項目を設定する



3 [👍] にタッチして終了する

設定項目

		
メニュー 言語	ディスクメニューの優先言語を設定し ます。	
サブタイト ル言語	字幕の優先言語を設定します。	
音声言語	音声の優先言語を設定します。	
ダイナミッ クレンジ	DVDの音声のダイナミックレンジを 設定します。ダイナミックレンジは Wide>Normal>Dialogの順に狭く なりますが、映画のセリフ等は明確に 聞き取れるようになります。 Wide/Normal/Dialog*	
ダウンミッ クス	ドルビーサラウンド音声または、音声をステレオで再生します。通常は、 Stereoの設定でお使いください。 Dolby Surround/Stereo*	
	ワイドモードで表示しま	

す。通常はこの設定でお使 0.0* いください。

16:9*



ボックス(LB)方式で表示します。このモードでは、画面 モニター 4:3LB のト下に黒い帯が出ます。



ワイド版の映像をパン&ス キャン(PS)方式で表示します。このモードでは、画面の 左右に黒い帯が出ます。

ワイド版の映像をレター

4:3PS



*お買い上げ時の設定



タイプ

- 言語の選択は、DVD言語コード表を参照してください。(→ P.75)
- 設定した優先言語が再生するDVDに収録されていない場合は、DVDに収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語やモニタータイプが変わらない場合があります。
- モニタータイプは、映像出力端子に接続した外部モニター用の表示設定です。
- モニタータイプを切り替えるときは、DVD再生 を停止させてから行ってください。

ビデオCD

ビデオCDを再生する

ディスクのレーベル面を上にして、ディスクを ディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動 で再生します。

ロディスクに切り替える

HOME ボタンを押して、ホーム画面または 全ソース画面を表示させ、「DISC1にタッチする。

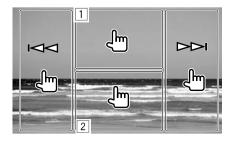
➡ ディスクを取り出すときは...

▲ (イジェクト)ボタンを押す。

【ビデオCD再生画面】



【ビデオCD再生画面(スキップ)】



- 1 画面上部中央にタッチすると、メニューコントロール 画面が表示されます。(→ P.25)
- ② 画面下部中央にタッチすると、操作ボタンが表示されます。



- 1 再生状態表示
- 2 トラック番号
- 3 演奏時間

illa.

4 ディスク表示(ディスクが本機にセットされていると"IN"と表示します。)

イコライザー画面を表示します。

5 リピート/ランダム再生表示

(- P 50)

6 PBC(プレーバックコントロール)表示

操作ボタンのはたらき

	(7 F.30)
 	前または次のトラックを再生します。 タッチし続けると、早送りまたは早戻し します。
►II	再生または一時停止(ポーズ)します。
	再生を停止します。 PBC(プレーバックコントロール)機 能がオンのときはPBCをオフします。
*	タッチするたびにランダム(RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、全トラックが順不同に再生されます。



- PBC (ブレーバックコントロール)機能がオンのときは、ランダム/リピート再生は選択できません。
- ・ 走行中は、ビデオの映像は映りません。

【メニューコントロール画面】



操作ボタンのはたらき

ZOOM	再生画面を拡大します。 (→ P.48)
Aspect	画面モードを変更します。 (→ P.48)
PictureAdjust	画質を調整します。(→ P.47)
⊚ MENU	ディスクメニューを表示します。
Audio	音声をST:ステレオ、L:左、R: 右の順で切り替えます。
Direct	ダイレクト選択ボタンを表示します。
Return	ディスクメニュー画面に戻ります。

曲番号を指定して選曲する

曲番号を指定して曲を選びます。

1 [Direct] にタッチする

画面上部中央にタッチして、メニューコントロール画面を表示して「Direct」にタッチする。





2 [DIR/CLR]、[数字ボタン]、[Enter] の順にタッチして曲を選ぶ



曲番号を入れ間違えたときは、[DIR/CLR] に タッチします。



- PBC (ブレーバックコントロール)機能がオンのときは、[■]にタッチして再生を停止させてから選曲します。
- ・ 選曲画面を消すときは、画面にタッチします。

ラジオ

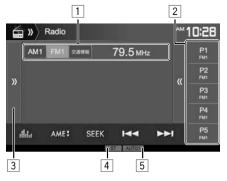
ラジオを聞く・操作する

ラジオ放送(FM/AM/交诵情報)を受信します。

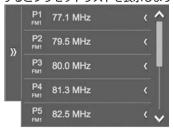
ロラジオに切り替える

HOME ボタンを押して、ホーム画面または 全ソース画面を表示させ、[Radio]にタッチする。

【ラジオ受信画面】



- ① 受信中のバンド、周波数表示、交通情報
- ② プリセットボタン[P1]−[P5] [巛] にタッチ するとプリセットリストを表示します。



- [《] にタッチするとプリセットリストを消します。
- ③ [》] にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



[《] にタッチすると操作ボタンを消します。

- 4 ステレオ表示
- 5 選局方法表示

操作ボタンのはたらき

	イコライザー画面を表示します。 (→ P.50)
AME 🖫	受信状態の良い放送局を、プリセット ボタンに自動的に登録します(オート メモリー)。(*) P.27)
05514	タッチするたびに放送局の選局方法を 設定します。 AUTO1: 放送局を自動的に受信しま す。
SEEK	AUTO2:登録されている放送局を順番に受信します。MANU:1ステップずつ周波数が変わります。
 ◀◀ / ▶▶	[SEEK]ボタンで設定した選局方法で 放送局を選局します。
AM/FM	受信するバンドを選択します。 タッチするたびにAMバンド (1/2)、 FMバンド (1/2) を切り替えます。
交通情報	交通情報を受信します。
プリセット ボタン (P1-P5)	よく聞く放送局を登録したり登録され ている放送局を受信します。各バンド ごとに5局、最大20局登録できます。
MONO	FMステレオ放送をモノラルで受信します。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに設定を "MONO" にすると、雑音が軽減されて聞きやすくなることがあります。

放送局を自動登録する (オートメモリー)

バンドごとに、5局の放送局を登録できます。 オートメモリーとプリセットメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。

¶ [AM]または[FM]にタッチして 登録したいバンドを選択する



▶ [AME]に約2秒以上タッチし続ける





受信状態の良い放送局が、プリセットボタンに自動的に最大5局登録されます。[《]にタッチするとプリセットリストを表示します。

受信中の放送局を1つずつ 登録する(プリセットメモリー)

よく聞くお好みの放送局を登録します。 オートメモリーとプリセットメモリーは、どちら か最後に登録したものが有効になります。

1 お好みの放送局を受信する



2 登録するプリセットボタン に約2秒以上タッチし続ける





受信中の放送局が選んだプリセットボタンに登録されます。[《] にタッチするとプリセットリストを表示します。

登録した放送局を呼び出す

プリセットボタンにタッチして登録した放送局を呼び出します。プリセットリストを表示するとバンドに切り替えに関係無くお好みの放送局を受信します。

¶ プリセットボタン[P1]ー[P5]にタッチして登録した放送局を呼び出すまたは、[《]にタッチしてプリセットリストを表示する



2 聞きたい放送局が登録されている プリセットボタンにタッチする



[**人**]/[**∨**]にタッチするとバンド毎のプリセット リストを切り替えます。



選んだ放送局を受信します。

交通情報を受信する

交通情報を受信します。

1 [交通情報] にタッチする



2 受信周波数を切り替える

[1620kHz]または[1629kHz]に切り替わります。



USB

ファイルを再生する

USB機器をUSB端子に接続します。 接続すると自動で再生します。

□USBに切り替える

HOME ボタンを押して、ホーム画面または 全ソース画面を表示させ、「USBIにタッチする。

⇒USB機器を取り外すときは...

[》》] にタッチして操作ボタン表示させて[▲] にタッチする。

オーディオファイルの再生

【オーディオファイル再牛画面】



- 11 アルバムアート画像
- ② 曲名/アーティスト名/アルバム名表示(テキスト情報が入っていると表示します。) 表示するテキスト情報が多い場合は[<]に タッチするとスクロール表示します。
- ③ [》] にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



[《] にタッチすると操作ボタンを消します。

- 4 演奏時間
- 5 再生状態表示

- 6 リピート/ランダム再生表示
- 7 ファイルの種類表示
- 8 フォルダ番号
- 9 ファイル番号

操作ボタンのはたらき

イコライザー画面を表示します。 (**→ P.50**)

再生リストを表示します。再生するファ イルを選択できます。(→ P.33)

前または次のファイルを再生します。 I◀◀ / ▶▶I タッチし続けると、早送りまたは早戻し します。

▶■ 再生または一時停止(ポーズ)します。

タッチするたびにフォルダ(FO-RDM)/ 全ファイル(RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、フォルダ内または 全ファイルが順不同に再生されます。

前のフォルダの先頭のファイルから再生します。

次のフォルダの先頭のファイルから再 生します。

タッチするたびに1ファイル(REP)/フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。
オンのときには、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。

▲ USB機器を取り外すときにタッチします。

再生したいファイルの種類や外部接続 するモニタータイプ、USB機器のドラ イブ切り替えを設定します。 (→ P.32)

ランダム再生、リピート再生がオンのときには、再生の状態を表示します。

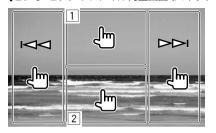
- ランダム再生、リピート再生は同時に選択できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示 されます。

ビデオ/ピクチャファイルの再生

【ビデオ/ピクチャファイル再生画面】



【ビデオ/ピクチャファイル再生画面(スキップ)】



- 1 画面上部中央にタッチすると、メニューコントロール 画面が表示されます。(→ P.46)
- ② 画面下部中央にタッチすると、操作ボタンが表示されます。



- 1 再生状態表示
- 2 フォルダ番号
- 3 ファイル番号
- 4 演奏時間

⑤ [) ○ [にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



- 「巛1にタッチすると操作ボタンを消します。
- 6 リピート/ランダム再生表示
- 7 ファイルの種類表示

操作ボタンのはたらき

all a	イコライザー画面を表示します。
	(→ P.50)

再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます。(→ P.33)

前または次のファイルを再生します。 I◀◀ / ▶▶I ビデオファイルのときは、タッチし続け ると、早送りまたは早戻しします。

▶Ⅲ 再生または一時停止(ポーズ)します。

タッチするたびにフォルダ(FO-RDM)/ 全ファイル(RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、フォルダ内または 全ファイルが順不同に再生されます。

前のフォルダの先頭のファイルから再生します。

次のフォルダの先頭のファイルから再 生します。

フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。 オンのときには、現在のファイルまた はフォルダ内のファイルが繰り返し再 生されます。

▲ USB機器を取り外すときにタッチします。

再生したいファイルの種類や外部接続 するモニタータイプ、USB機器のドラ イブ切り替えを設定します。 (→ P.32)



- ランダム再生、リピート再生がオンのときには、再生の状態を表示します。
- ランダム再生、リピート再生は同時に選択できません。
- 走行中は、ビデオ/ピクチャファイルの映像は 映りません。

設定を変更する

再生したいファイルの種類や外部接続するモニタータイプ、USB機器のドライブ切り替えを設定します。

1 [MODE]にタッチする



ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチして操作ボタンを表示させて、「MODE」にタッチします。





▶ 各項目を設定する



3 [4] にタッチして終了する。

設定項目

再生するファイルの種類に応じてファイ ルタイプを選択します。

ファイル 音楽(オーディオ) /

静止画像(ピクチャ)/映像(ビデオ)/ 音楽と映像*(オーディオとビデオ)

映像出力端子に接続した外部モニターの モニター モニタータイプを設定をします。

±_ダー (→ P.23)

16:9/4:3LB/4:3PS

スマートフォンなどをUSBマスストドライブ レージ接続したときに、内蔵メモリまた切替え は外部メモリ(SDカードなど)を[Next]にタッチして選択します。

*お買い上げ時の設定

再生するファイルをリストで 選択する

再生するファイルを選択します。

1 [②] にタッチする

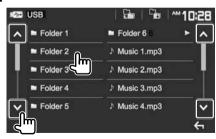


ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチして操作ボタンを表示させて、「Q]にタッチします。





2 フォルダを選んでタッチする



[▲]/[▼]にタッチするとリストを移動します。 ファイルのリストが表示されるまで繰り返します。

3 再生するファイルを選んでタッチする



選択したファイルが再生されます。



- ・ リストに表示されるファイルは「設定を変更 する」のファイルタイプで選択した種類の ファイルが表示されます。(→ P.32)
- 選んだフォルダの下位にさらにファイルがあるときは、▶が表示されます。
- [] にタッチすると最上位階層へ [] に タッチするとリストの1階層上に戻れます。

iPod/iPhone

iPod/iPhoneを再生する

iPod 接続ケーブルについて

Lightning ™コネクタモデル

音楽再生対応のみ:

Apple Lightning USBケーブル

Dock コネクタ (30 ピン) 搭載モデル

音楽再生用:

別売の**/ヺ*// \"ソ*棹正** iPod接続用ケーブル 音楽/ビデオ再牛用:



- Apple DockコネクタUSBケーブルまたは Apple Lightning USBケーブルは車内に放 置しないでください。直射日光や高温で変形 や故障の原因になります。
- 別売の音楽/ビデオ再生用の 「ディノンジャル正iPod接続ケーブルを接続 した場合は、AV-INソースで映像を見ることはできません。

□iPod/iPhoneに切り替える

HOME ボタンを押して、ホーム画面または 全ソース画面を表示させ、[iPod]にタッチする。

➡ iPod/iPhoneを取り外すときは...

iPod/iPhoneをiPod接続ケーブルから取り外す。

【iPod再生画面】



1 アルバムアート画像

- ② 曲名/アーティスト名/アルバム名表示(テキスト情報が入っていると表示します。) 表示するテキスト情報が多い場合は[く]に タッチするとスクロール表示します。
- ③ [》] にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



「《() にタッチすると操作ボタンを消します。

- 4 演奏時間
- 5 再牛状態表示
- 6 リピート/ランダム再牛表示
- 7 ファイルの種類表示
- 8 曲番号/全曲数

操作ボタンのはたらき

イコライザー画面を表示します。 (**→ P.50**)

再生リストを表示します。再生する曲 をカテゴリーで選択できます。 (→ P.37)

前または次のファイルを再生します。 ▶▶ タッチし続けると、早戻しまたは早送 りします。

▶Ⅲ 再生または一時停止(ポーズ)します。

タッチするたびに全ファイル(RDM)/アルバム(A-RDM)/オフを切り替えます。
オンのときには、選ばれた全ファイルまたはアルバムのファイルが順不同に再生されます。

タッチするたびに1ファイル(REP)/全 ファイル(ALL REP) /オフを切り替え ます。オンのときには、1ファイルまたは 全ファイルが繰り返し再生されます。

MODE アルバムアート画像を設定します。 (→ **P.36**)

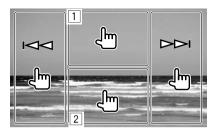


- ランダム再生、リピート再生がオンのときには、再生の状態を表示します。
- ・ ランダム再生、リピート再生は同時に選択できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示 されます。

【iPodビデオ再生画面】



【iPodビデオ再生画面(スキップ)】



- 回面上部中央にタッチすると、メニューコントロール 画面が表示されます。(→ P.46)
- ② 画面下部中央にタッチすると、操作ボタンが表示されます。



- 1 再生状態表示
- ② 曲番号/全曲数
- 3 演奏時間

4 [》] にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



- 「《] にタッチすると操作ボタンを消します。
- 5 リピート/ランダム再生表示
- 6 ファイルの種類表示

操作ボタンのはたらき

イコライザー画面を表示します。 (→ P.50) 再生リストを表示します。再生するビデオをカテゴリーで選択できます。

(→ P.37) 前または次のファイルを再生します。

|◀◀ / ▶▶| タッチし続けると、早戻しまたは早送 りします。

▶Ⅲ 再生または一時停止(ポーズ)します。

タッチするたびに全ファイル(RDM)/アルバム(A-RDM)/オフを切り替えます。 オンのときには、選ばれた全ファイルま

オンのときには、選ばれた全ファイルまたはアルバムのファイルが順不同に再生されます。

タッチするたびに1ファイル(REP)/全

ファイル(ALL REP) /オフを切り替え ます。オンのときには、1ファイルまたは 全ファイルが繰り返し再生されます。

MODE アルバムアート画像を設定します。 (→ **P.36**)

- ビデオの再生は「再生するファイルをリスト で選択する」のビデオリストから選択します。
 (→ P.37)
 - ランダム再生、リピート再生がオンのときには、再生の状態を表示します。
 - ・ 走行中は、ビデオファイルの映像は映りません。

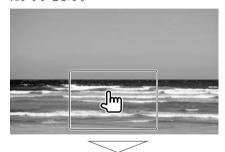
設定を変更する

アルバムアート画像の設定します。

1 [MODE]にタッチする



ビデオを再生しているときは、画面下部中央に タッチして操作ボタンを表示させて、[MODE] にタッチします。





▶ 各項目を設定する



3 [<] にタッチして終了する

設定項目

L	アルバムアート画像を表示します。
アート ワーク	
7	ON*/OFF

*お買い上げ時の設定

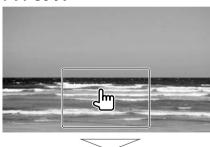
再生するファイルをリストで 選択する

再生するファイルを選択します。

1 [②] にタッチする



ビデオを再生しているときは、画面下部中央に タッチして操作ボタンを表示させて、[@]に タッチします。





2 [♪](ミュージックリスト) または [♪](ビデオリスト)を選択する ミュージックリスト



3 カテゴリー、または再生する曲/ビデオファイルを選んでタッチする

Artist 2

≦ ムービー



[▲]/[▼]にタッチするとリストを移動します。 ファイルのリストが表示されるまで繰り返しま す。選択したファイルが再生されます。



- ・3 以降で表示されるカテゴリー/サブカテゴ リーは、ミュージックとビデオとでは異なり ます。また、ビデオのサブカテゴリーは、接続 するiPod/iPhoneによって異なります。
- ・[こ] にタッチすると最上位階層へ [] に タッチするとリストの1階層上に戻れます。

Android

Androidを再生する

Androidスマートフォンに付属のUSB接続ケーブルを使ってUSB端子に接続します。

□Androidに切り替える

HOME ボタンを押して、ホーム画面または 全ソース画面を表示させ、「Android]にタッチする。

➡ Androidを取り外すときは...

Androidスマートフォンを接続ケーブルから取り 外す。

【Android再生画面】



操作ボタンのはたらき

- ∰lla	イコライザー画面を表示します。 (→ P.50)
◄	前または次のファイルを再生します。 タッチし続けると、早戻しまたは早送 りします。
►II	再生または一時停止(ポーズ)します。



接続する機器によっては正しく再生できない ことがあります

外部AV機器

外部AV機器の映像を見る/ 音を聞く

AV接続ケーブルを使って、ビデオカメラなどの外部AV機器を本機のAV-IN端子に接続し映像や音声を再生します。

接続ケーブルについてはケンウッド製オーディオ /映像入力ケーブルCA-C3AV(市販品)を量販店 などでお買い求めください。

AV-IN端子を使用するときは[iPod設定]の設定を"USB 1Wire"にします。(→ P.61)

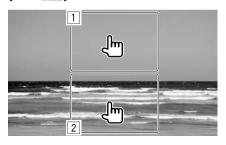


 AV接続ケーブル(市販品)で外部AV機器 を接続した場合は、iPodソースで、別売の グディノトンを独立でiPod接続ケーブルを使っ て映像を見ることはできません。

□外部AV機器に切り替える

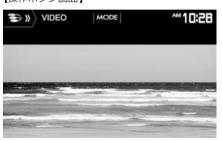
HOME ボタンを押して、ホーム画面または 全ソース画面を表示させ、[AV-IN]にタッチする。

【AV-IN画面】



- 回面上部中央にタッチすると、メニューコントロール 画面が表示されます。(→ P.46)
- ② 画面下部中央にタッチすると、操作ボタンが表示されます。

【操作ボタン画面】



操作ボタンのはたらき

AV-INの名前を設定します。ここで設定 MODE した名前はAV-IN画面を選択したとき に表示されます。

AV-INの名前を設定する

AV-IN画面で表示される名前を設定します。

▮ [MODE]にタッチする



2 タッチして名前を選ぶ



VIDEOまたはDVD/VCD/VCR/GAME/AUX/TVの中から選びます。

3 [4] にタッチして終了する



名前を変更してもホーム画面のソースアイコンの名前は変わりません。

バックモニター・パノラマモニターを使う

使用上のご注意

- 本機で対応しているバックモニターは、
 イディハツ・純正バックモニター、
 イディハツ・純正 3モードカメラ、
 イディハツ・純正 パノラマモニター (一部の車面のみ装着)です。
- モニター画面だけを見ながら車を後退させる ことは、絶対にしないでください。必ず直接目 で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした 速度(徐行)でで使用ください。
- バックモニター機能は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質、ガイド線を設定するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。
- ガイド線を設定するときは、必ず安全で迷惑の かからない場所に停車してから操作してくだ さい。
- ガイド線の横幅を駐車線に合わせて設定した場合は、実際に表示されるガイド線は自車の幅ではありません。駐車場のスペースは場所によって異なります。駐車するときは実際の大きさをよくご確認ください。
- 表示される操作ボタンは、5秒間操作がないと きは消えます。もう一度タッチするとボタンが 表示されます。
- 説明に使用しているカメラ画面はイメージです。

タイハツ*純正*バックモニター を使う

□*写"イ*ノ**、"**少純正バックモニターを 設定する

タイルツ純正 バックモニターを接続しているときに設定します。

- **1** HOME ボタンを押して、ホーム画面を表示させ[※]にタッチする
- 2 [入力]にタッチする



3 [リアカメラ] にタッチする



▲ 各項目を設定する



5 [X]または[</br>
する

設定項目

別売の**タデイト ツ 検証** バックモニターを接続したときは [ON] にしてください。

リアカメラ割 込み

車両のギアをリバース(R)に入れたときに、リアカメラの映像に自動的に切り替ります。

ON/OFF*

UIN/UFF

パーキング ガイド線表示 ガイドラインを表示します。

ON*/OFF

パーキングガイド線設定

ガイドラインを調整します。

*お買い上げ時の設定

□ *写"¶」、"У純正* バックモニターの ガイド線を調整する

バックモニター映像に表示されるガイド線の位 置を調整します。

車を駐車スペースに停めてパーキングブレーキ を引き、車を停止させて周囲の安全を確認してか ら行ってください。

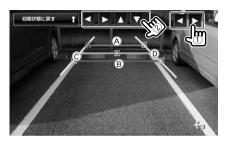
¶ パーキングガイド線表示の[ON]にタッチする



2 パーキングガイド線設定の[調整]にタッチする



3 左右ボタン[①]にタッチして、調整するカーソル36を選択し、上下左右ボタン [②]にタッチしてガイド線を調整する



⊕と®が水平方向で平行に、©と®が同じような 位置をなるように調整します。

[初期状態に戻す]に約2秒以上タッチするとガイド線の位置を初期状態に戻します。

4 [📞] にタッチして終了する

バックモニターの映像で後方確認をしてから車 を後退させることができます。

■ シフトレバーを "R" (リバース)にする



[目安線]:

目安線を消します。もう一度タッチすると表示 します。

タイハツ*純正*3モードカメラを使う

□*ダイハッ純正*3モードカメラを 設定する

ガイド線の表示/非表示とカメラ映像の表示方法(ビュー)の設定を行います。

- 】 HOME ボタンを押して、ホーム画面を表示させ「◯◯]にタッチする
- 2 [入力]にタッチする



3 [3モードカメラ]にタッチする



▲ [調整]にタッチする



5 表示方法を設定する



6 [X]または[</br>
する

設定項目

ガイド線の表示/非表示を設定する

[ガイド線(固定)]:

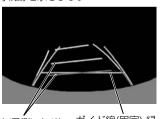
ガイド線(固定)を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。

[ガイド線(予測)]:

ガイド線(予測)を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。

ガイド線(予測)は、ハンドル操作に連動した車の進行軌跡を示します。

(1)



ガイド線(予測) 赤/黄 ガイド線(固定) 緑

表示方法(ビュー)を設定する

② [ノーマル] [トップ] [ワイド]: 画面の表示方法を切り替えます。

□ *「タ"・【】* ハッ *純正* 3モードカメラの映像を表示する

1 シフトレバーを "R" (リバース)にする



モニター映像にタッチすると、操作ボタンが表示されます。



①、②については左記をご覧ください。

*ダイハツ純正パノ*ラマモニター を使う

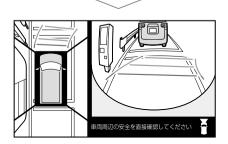
□後方の映像を表示する

■ シフトレバーを "R" (リバース)にする



□前方の映像を表示する

■ 時速約10km以下に減速して、MENU ボタンを1秒以上押す



□表示を切り替える

¶ パノラマモニターの画面を表示させ、画面にタッチする

2表示方法を設定する



[サイド] [全周囲] [ワイド]: 画面の表示方法を切り替えます。

□ガイド線を切り替える

パノラマモニターの画面を表示させ、画面にタッチする

2 ガイド線の表示/非表示を設定する



[ガイド線(固定)]:

ガイド線(固定)を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。

[ガイド線(予測)]:

ガイド線(予測)を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。

ガイド線(予測)は、ハンドル操作に連動した車 の進行軌跡を示します。



- 車のシフトレバーを "R" (リバース)にしないと、後方の映像は表示されません。
- 前方の映像(全周囲、ワイド)を表示中に時速 約10km以上で走行すると、前方の映像が終 了し元の画面に戻ります。
- 前方の映像を表示させたまま約3分間何も操作しないと、切り替える前の画面に戻ります。
- 時速約10km以上で走行中に MENU ボタンを1秒以上押すと、サイドの映像に切り替わります。

メニューコントロール

メニューコントロールを設定 する

映像ソースの画質や画面モード、画像ズームを設 定します。

DVD、USB、iPod/iPhoneや外部AV 機器の映像を再生する

2 画面上部中央にタッチする



3 各項目を設定する

(画面例: DVD)



(画面例: USB)



4 [🚄] にタッチして終了する

設定項目

Picture Adjust (→ P.47)

Aljust 明るさ/コントラスト/色の濃さ/色/色合い/鋭さ

画面モードを設定します。(→ P.48)

Aspect フル/ジャスト/ノーマル/オート

再生している映像を拡大表示します。(→ P.49)

ズーハ1/ズーハ2/ズーハ3/フル

映像ソースの画質を調整する

映像ソースの画質を調整します。 車両のライトスイッチがオン(ディマーオン)と、 オフ(ディマーオフ)のときで別々に設定できます。

1 [Picture Adjust]にタッチする

(画面例: DVD)



(画面例: USB)



2 [DIM ON]または[DIM OFF]に タッチしてから [+] または [-] に タッチして、各項目を調整する



[DIM ON] ディマーオン時の設定をします。 [DIM OFF] ディマーオフ時の設定をします。

3 [4] にタッチして終了する

調整項目

明るさ	明るさを調整します。 + 明るくなります。 - 暗くなります。
コントラスト	コントラストを調整します。 + コントラストが強くなります。 - コントラストが弱くなります。
色の濃さ	黒色の明るさを調整します。 + 明るくなります。 - 暗くなります。
色	色の濃淡を調整します。 + 濃くなります。 - 淡くなります。
色合い	色合いを調整します。 + 緑が強くなります。 - 赤が強くなります。
シャープネス	鮮明度を調整します。 + 鮮明度強くなります。 - 鮮明度が弱くなります。



・ 映像ソースによっては、調整できない項目が あります。

画面モードを設定する

再生する映像の画面モードを設定します。

1 [Aspect] にタッチする

(画面例: DVD)



(画面例: USB)



2 [アスペクト]にタッチして、画面モードを 選択する



フル/ジャスト/ノーマル/オートの中から選びます。

3 [<] にタッチして終了する



・ オートはソースがUSBまたはディスクのと き選択できます。 画面モードは、再生する映像のアスペクト比(縦横比)で変化します。再生する映像に合わせて選択します。

21606901	サエタの吹像に口わら	C医がしよう。
画像モード	4:3の映像のとき	16:9の映像のとき
フル	$^{\circ}$	$^{\circ}$
ジャスト	ွိOွိ	000
ノーマル	$ oindsymbol{\circ}$	$^{\circ}_{\circ}$

オート 再生する映像を検出して自動的に最適な画面モードに切り替えます。



...... フル:

4:3の映像の左右だけを拡大します。映像がかけることなくワイド画面が表示されます。

ジャスト:

画面の両端に近づくほど、横方向に伸びる比率 が高くなります。画面の中央付近は通常の映像 とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイ ド画面を違和感無く楽しめます。

ノーマル:

4:3の映像をそのまま表示します。

ズームで画面を拡大する

再生している映像の画面を拡大表示します。

1 [ZOOM]にタッチする

(画面例: DVD)



(画面例: USB)



2 [ズーム]にタッチして、ズームモードを 選択する



ダブーム タッチするたびにズーム倍率(ズーム1/2/3/フル)が変わります。

◀▶▲▼ ズームした画像をタッチした方向に 移動します。

3 [4] にタッチして終了する

オーディオ設定

オーディオ設定をする

車内の音響効果や音質を調整します。 オーディオ設定は、ソースを選択して音が出ているときに行ってください。

1 HOME ボタンを押して、ホーム画面を表示させ[※] [にタッチする

? [オーディオ]にタッチする



3 各項目を設定する



「▲1/「✔1にタッチするとリストを移動します。

4 [X]または[</br>
する

設定項目(オーディオ)

イコライザー	音質を設定します。 (→ P.50, P.51)
サウンド	ドライブEQなどの音響効果を設定
エフェクト	します。(→ P.52)
フェダー/	前後/左右の音量バランスを設定
バランス	します。(→ P.53)
6	車両の種類や接続するスピーカー
スピーカー	を設定します。(→ P.54)

タイム アライメント 音楽を聞く座席に合わせてより良い音場になるように詳細に設定します。(→ P.55)

ソースレベル

各ソースの音量を、CDの音量を 基準にそろえます。(**→ P.56**)

*お買い上げ時の設定



・ [セットアップメモリ]で"ロック"を選択する と[①] 鍵マークの表示されている設定の項 目が変更できなくなります。(→ P.62)

プリセットイコライザーを 設定する

音楽のジャンルに合わせて、プリセットイコライザーを設定します。

1 [イコライザー]にタッチする



2 [◄]/[▶]にタッチしてプリセットイコライザーのジャンルを選ぶ



3 [X]または[</br>
する



プリセットイコライザーはソースごとに設定 できます。

ユーザーイコライザーを 設定する

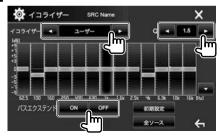
ユーザー独自のイコライザーカーブ(ユーザー) を設定することもできます。設定するとプリセッ トイコライザーのユーザーに登録されます。

調整したい周波数[①]を選んでタッチし、[▲]/[▼]にタッチ[②]してレベルを設定する



設定したイコライザーカーブがユーザーに登録されます。

2 各項目を設定する



[全ソース]にタッチすると、全てのソースに同じ イコライザーが設定されます。

[初期設定]にタッチすると、設定したイコライザーをクリアします。

3 [X]または[</br>
する

設定項目

イコライザー	ジャンルに合わせてイコライザーを 設定します。
	Natural*/Rock/Pops/Easy/ Top40/Jazz/Powerful/ユーザー
Q	クォリティファクターを設定します。
	1.35/1.5*/2.0

バスエクステンドを設定します。

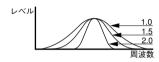
OFF*/ON

*お買い上げ時の設定



Q(クォリティファクター)

イコライザーの調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。



・ バスエクステンド

この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に伸びた状態になります。



ユーザーイコライザーは、ソースごとに設定できます。

音響効果を設定する

ドライブ EQなどの音響効果を設定します。

1 [サウンドエフェクト]にタッチする



2 各項目を設定する



[◀]/[▶]にタッチして設定します。

3 [★]または[←]] にタッチして終了

設定項目

政化块口	
ラウドネス	小さな音量で音楽を聞くときに不足 しがちな低域と高域の音量を補正し ます。
	OFF*/Low/High
バス	低域の音量を補正します。
ブースト	OFF*/Level 1/Level 2/Level 3/ Level 4/Level 5
ドライブFΩ	ロードノイズからの影響が軽減される音質を設定します。
131324	OFF*/ON
スペース	実際の車室よりも広い仮想空間を作り出します。仮想空間の広さを設定ます。
エンハンリー・	OFF*/Small/Medium/Large
サプリーム*1/*2	圧縮オーディオで失われた高音域成 分を補完してリアリティーのあるサ ウンドを再現します。
	OFF/ON*
	ぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティ感のある音にします。

リアリティ感のある音にします。

リアライザー

OFF*/Level 1/Level 2/Level 3

実際のスピーカーの位置よりも高い 位置から音が聞こえるような音響効 果を作り出します。仮想スピーカー サウンドライザー の位置(高さ)を設定します。

OFF*/Low/Middle/High

*お買い上げ時の設定



- ・ *1 ソースがラジオのときは設定できません。
- ・ *2 ソースがDISC/USB/iPod/Androidの時 に効果があります。

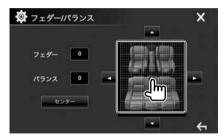
フェダー/バランスを 設定する

前後および左右の音量バランスを調整します。

1 [フェダー/バランス]にタッチする



2 フェダー/バランスを合わせる位置に タッチする



[▲]/[▼]にタッチして前後のバランスを[◀]/[▶] にタッチして左右のバランスを調整することもでき ます。

[センター]にタッチすると、前後/左右ともに バランスは中央になります。

3 [**X**]または[《]] にタッチして終了する

スピーカーを設定する

接続するスピーカーの設定をします。車両タイプやスピーカー取付位置などを設定します。

1 [スピーカー]にタッチする



2 車両タイプ[①]とリアスピーカー取り付け 位置[②]を選んで[スピーカー選択]にタッ チする



3 接続しているスピーカー[①]とスピーカー サイズ[②]を選んでスピーカーを設定する



4 [**X**]または[〈-」] にタッチして終了する

設定項目

車両タイプ	車両タイプを設定します。
	OFF/コンパクト・軽/セダン/ワゴン/ ミニバン/SUV/ワンボックス
スピーカー 位置(リア)	リアスピーカーの取付位置を設定します。
	ドア/リアトレイ (リアデッキサイド)
フロント/ リアスピー カー	フロント/リアスピーカーの口径の大 きさを設定します。
	なし(リアスピーカのみ)/ 8cm/ 10cm/ 12cm/13cm/16cm/ 17cm/ 18cm/ 4x6/ 5x7/6x8/ 6x9/ 7x10

リスニングポジションを設定 する

音楽を聞く座席に合わせてより良い音場になる ように詳細設定します。

「タイムアライメント」にタッチする



設定したい座席を"オール"、"フロント左"、 "フロント右"、"フロント" から選択する



含スピーカーの距離とレベルを設定する



[初期状態に戻す]にタッチすると設定値を初期状 態に戻します。

4 [X]または[

設定項目

リスニング

音楽を聞く座席を指定します。

ポジション オール(全座席)/フロント右/

基準点から距離を入力します。

フロント左/フロント(フロント両座席)

距離

0~610cm (20cmステップ)

スピーカーの音量を微調整します。

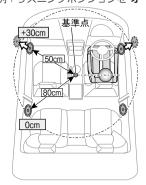
レベル

-8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/-1/0 (dB)

距離の設定は、車両中心部からの各スピーカーの距 離を指定することにより、自動的に割り出されて補 正されます。

- (1)前後と高さをフロント座席に座った人の耳の位置 で、左右を車室内の中央に基準点を設定します。
- (2) 基準点からスピーカーまでの距離を測ります。
- (3) 一番遠いスピーカーの距離に合わせて距離の差 を計算します。

例:リスニングポジションを"オール"を選んだ場合



ソースの音量バランスを そろえる

各ソースの音量をCDの音量を基準にそろえると ソースを切り替えても、ほぼ同じ音量で聞くこと ができます。

1 [ソースレベル] にタッチする



▶ 現在聞いているソースの音量を調節する



[◀]/[▶]にタッチして音量を調節します。 [初期状態に戻す]にタッチするとソースレベルの 調整を初期状態に戻します。

3 [X]または[</br>
する

設定項目

各ソースの音量を調節します。 (Radio/iPod/USB/AV-IN/DISC/ ソースレベル Bluetooth)

 $-15 \sim 0 \sim 6$

画面設定

画面を設定する

本機の画面の明るさや表示方法など、表示に関する項目を設定します。

- **1** HOME ボタンを押して、ホーム画面を表示させ[※]にタッチする
- 2 [画面] にタッチする



3 各項目を設定する



[▲]/[✔]にタッチするとリストを移動します。

4 [X]または[</br>

	3 III /
ディマー	画面と照明の明るさを車両のライト スイッチに連動して減光します。ON に設定すると常時減光します。
	オート*/ON/OFF
ユーザー カスタマイズ	操作ボタンのイルミネーション色や 画面の背景画像を変更します。 (→ P.58、P.59)
映像中の 時刻表示	映像表示画面に時計を表示します。
	ON/OFF*
スクロール	ディスプレイに表示するファイル名などのテキスト文字を文字数が多いときにスクロール表示します。1回を設定すると1回だけスクロール表示します。
	ON*/OFF
HOME カスタマイズ	ホーム画面のソースアイコンを好き な順番に並び替えることができます。 (→ P.60)
画質調整	画面の明るさや画面の黒色のレベル を設定します。(→ P.60)
映像出力 方式	ビデオ出力端子のビデオ方式を設定 します。通常はNTSCの設定でお使い ください。
	NTSC*/PAL
パネル角度 調整	画面が見やすくなるようにパネルの 角度を調整します。(→ P.14)

0~6

設定項目(画面)

*お買い上げ時の設定

イルミネーション色を 設定する

ボタンのイルミネーションの色を設定します。

[画面]の[ユーザーカスタマイズ]に タッチする



2 [キーカラー設定]にタッチする



3 色のボタンにタッチする



スキャンにタッチすると、イルミネーション色は時間とともに変化します。

車両のイルミネーションに合わせた色を作るときは...

¶ 前項3で[ユーザー]にタッチして [編集]にタッチする



2 Red(赤)/Green(緑)/Blue(青)の [+] または [-] にタッチして、新しい色を作る



ボタンの発光色を見ながら色を設定します。 ディマーオンとオフを別々にイルミネーション 色を設定できます。

3 [X]または[</br>
する

設定項目

キーカラー	イルミネーション色を作成します。 (Red/Green/Blue)
	0~31

背景画像を読み込み変更する

あらかじめ用意されている背景画像のほかに、 好きな写真や映像を読み込んで、背景画像として 設定します。

はじめに読み込む写真や映像を再生しておきます。

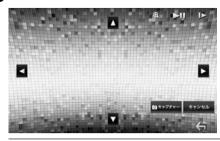
[画面]の[ユーザーカスタマイズ]に タッチする



2 [キャプチャー]にタッチする



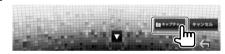
3 画像を調整する



- ▶II プレイまたは一時停止します。
- → 一時停止のときに映像をコマ送り します。
- タッチするたびにズーム倍率(ズーム1/2/3/オフ)が変わります。
- **◀▶▲▼** ズームした画像をタッチした方向 に移動します。

キャンセル 読み込みを中止します。

▲ [キャプチャー]にタッチする



読む込む前に"上書きしますか?"と表示されます。 読む込むときは[Yes] にタッチします。 中止するときは[Not] にタッチします。

5 [X]または[</br>



- ・ 著作権保護の写真や映像、iPod/iPhoneの 写真や映像は読み込めません。
- 登録できる背景画像は1枚です。
 - ・ 画像(JPEGファイル)のサイズは、800 x 480 ピクセルを推奨します。

読み込んだ背景画像に変えるときは...

■ 前項2で [ユーザー]にタッチする



あらかじめ用意されている背景画像に変えるときは好きな画像にタッチします。

2 [X]または[</br>

ソースアイコンを好きな順番 に並べる

ホーム画面のソースアイコンを好きな順番に並び替えることができます。

[画面]の[HOMEカスタマイズ]に タッチする



2 変更するソースアイコン[①]にタッチしてから変更したいソース[②]を選択する



[**〈**]/[**〉**]にタッチしてソースアイコンを変更します。さらに変更したいときは同じ操作を繰り返します。

3 [X]または[</br>
する

画面の明るさを調節する

画面の明るさや画面の黒色のレベルを設定します。車両のライトスイッチに連動するディマーオンとオフを別々に設定できます。

▮ [画面]の[画質調整]にタッチする



2 DIM ONまたはDIM OFFにタッチして から [+] または [-] にタッチして、各 項目を調整する



DIM ON ディマーオン時の設定をします。 DIM OFF ディマーオフ時の設定をします。

3 [X]または[〈」] にタッチして終了

調整項目

明るさ	明るさを調整します。 + 明るくなります。 - 暗くなります。
色の濃さ	黒色の明るさを調整します。 + 明るくなります。 - 暗くなります。

システム設定

システムを設定する

本機の時計やオーディオ設定の保存、呼び出しな ど、システムに関する項目を設定します。

- **1** HOME ボタンを押して、ホーム画面を表示させ[※] [にタッチする
- **?** [システム]にタッチする



3 各項目を設定する



[▲]/[✔]にタッチするとリストを移動します。

4 [X]または[</br>
する

設定項目(システム)

時刻設定	時計を調整しま	す。(→ P.13)
iPod設定*1	USB 1Wire*	iPod/iPhoneの音楽 を楽しむときに選択し ます。
	USB + AV-IN	iPod/iPhoneの映像 と音楽を楽しむときに 選択します。 別売の接続ケーブルが 必要です。
Bluetooth 設定	Bluetoothの影 (→ P.74)	定をします。
操作音	画面のボタンに 音を出します。	タッチしたときに操作
	ON*/OFF	
セットアッ プメモリ	設定したオーテ 呼び出します。	ディオ設定を保存または (→ P.62)
タッチパネ ル調整		,て操作するときのタッ ,ます。(→ P.63)
システム 情報	システム情報を	
オープン ソースライ センス	オープンソース します。	ライセンス情報を表示
		*お買い上げ時の設定



・ *1 iPhone 6s,iPhone 6s Plusなどの Lightning™コネクタ搭載モデルご使用に なる場合は[**iPod設定**]を"**USB 1 Wire**" に設定します。 iPod設定はソースが "STANDBY(スタンバイ)"のときに設定でき ます。

設定を保存する/呼び出す

オーディオ設定のスピーカー設定の設定状態を 保存します。

保存した設定はいつでも呼び出すことができます。 本機をリセットしても保存した設定は消えません。

[システム]の[セットアップメモリ]に タッチする



2 設定を保存または呼び出すときは 「Yes]にタッチする



はい	設定を保存または呼び出します。
いいえ	設定を中止して設定画面に戻ります。
ロック	オーディオ設定をロックします。選択すると[1] 鍵マークの表示されている設定の項目が変更できなくなります。
ロック解除	ロックを解除します。

3 動作を選択する



呼び出し	保存されている設定を呼び出します。
保存	現在の設定状態を保存します。
クリア	保存されている設定をクリアします。
キャンセル	 設定を中止します。

4 保存または呼び出しを実行する

設定を保存するときは...



確認のメッセージが表示されます。 保存するときは[Yes]、保存しないときは[No]に タッチします。

設定を呼び出すときは...



確認のメッセージが表示されます。

呼び出すときは[Yes]、呼び出さないときは[No] にタッチします。

保存されている設定をクリアするときは...



確認のメッセージが表示されます。 クリアするときは[Yes]、クリアしないときは [No]にタッチします。

5 [X]または[</br>

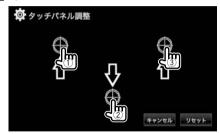
タッチ位置を調整する

画面にタッチして操作するときのタッチ位置を 調整します。

】 [システム]の[タッチパネル調整]に タッチする



2⊕にタッチする



②、③ の順で
 マークの中央にタッチします。

キャンセル 操作を中止します。

リセット 調整前の状態に戻します。

Bluetooth

Bluetooth機器の使用にあ たって

Bluetooth®

Bluetoothは、短い距離に置かれた携帯電話やポータブルパソコン等のモバイル機器を、無線でつなぐ技術です。Bluetooth機器は、ワイヤーで接続することなく、通信することができます。



- 運転中は、番号をダイヤルする、電話帳を使う といった複雑な操作をしないで下さい。これ らの操作は、車を安全なところに止めてから 行って下さい。
- Bluetooth機器のバージョンによっては、本機とBluetooth通信ができないことがあります。
- Bluetooth機器によっては、本機と動作しないものがあります。
- 通信品質は、接続する周辺の環境によって変わります。
- 機器によっては、本機の電源オフ時に、接続が 解除されるものがあります。

電話帳利用プロファイル(PBAP:ホーン ブックアクセスプロファイル)対応の携 帯電話について

お使いの携帯電話がPBAP対応の場合、本機と接続した際に以下の項目がタッチパネル上に表示されます。

- 雷話帳
- ・電話を掛けた相手の番号、着信番号、取れなかった番号(最大10件まで)

ただし、PBAP対応の携帯電話を接続しても 電話帳が表示されない携帯電話もあります。

Bluetooth機器の接続

□新しいBluetooth機器の登録

本機とBluetooth機器を初めて接続する場合は、ペアリングが必要です。ペアリング後、本機とBluetooth機器の接続が可能になります。

- ペアリング方法は、Bluetoothのバージョンにより異なります。
 - Bluetooth2.1対応機器の場合:SSP(安全で簡単なペアリング)を使ってペアリングが存行った後、確認を行います。
 - Bluetooth2.0対応機器の場合:ペアリング時に、本機とBluetooth機器の両方にPINコードを入力します。
- ・一度、接続を行うと、Bluetooth機器は本機に 登録され、本機をリセットしても登録は抹消さ れません。本機には最大10台のBluetooth機 器を登録することができます。
- Bluetooth電話2台とBluetoothオーディオ機器1台が同時に接続できます。
- Bluetooth機能を使用するには、ご使用の機器 のBluetooth機能をオンにして下さい。
- 登録済みの機器を使用する際は、本機との接続を行って下さい。(→ P.66)

オートペアリング

IPhoneのようなiOSを使用している機器は、オートペアリングをオンにし、本機とUSBケーブルで接続すると、自動的にペアリングも行われます。(→ P.74)

SSP対応のBluetooth機器のペアリング (Bluetooth2 1)

Bluetooth機器がBluetooth2.1対応している場合、ペアリング要求が送られて来ます。

- **1** で使用のBluetooth機器で、本機 ("DUK-W67D")を探します。
- **2** 本機とBluetooth機器の両方で、ペアリング要求を確認します。



ペアリング要求を拒否する場合は、Cancelを押してください。

PINコードを使用したBluetooth機器のペアリング(Bluetooth2.0)

- **1** HOME ボタンを押して、ホーム画面を表示させ[⑥]にタッチする
- 2 [システム]にタッチする



3 [Bluetooth設定] にタッチする



Bluetooth設定画面は、電話画面の[**』**]を押しても表示することができます。(**→ P.69**)



4 [PINコード] にタッチする



5 PINコードを変更する

- PINコードを変更しない場合は、手順7に進んで下さい。
- PINコードの初期値は、0000です。
- PINコードは、15ケタまでの数字で設定します。



[クリア]にタッチすると、最後に入力した数字を 消すことができます。

6 [OK] にタッチする



- **7** Bluetooth機器から本機 ("DUK-W67D")を探します。
- **8** Bluetooth機器で、本機 ("DUK-W67D") を選びます。

PINコードを要求された場合は、0000 (初期値)を入力します。

ペアリングが完了すると、デバイスリスト上に機器が記載されます。



ペアリング済の機器(デバイスリスト上に記載されている機器)を使用する場合は、本機と接続して下さい。(→ **P.66**)

□登録済のBluetooth機器の接続 と接続解除

2台の機器を同時に接続できます。

【 [システム]の[Bluetooth設定]にタッチ する



2 [デバイスリスト]にタッチする



3 接続したい機器(①)を選び、[接続](②) にタッチする



4 機器を接続する場合は[ON]を、接続解除する場合は[OFF]を選び(①)、デバイスリスト画面を表示させる(②)



- : 携帯電話
- ♪: オーディオ機器
- 状態は以下の通り。
 - 接続中
 - 接続しました
 - 接続可能
 - 切断中
 - 接続されていません
- **5** [OK]にタッチし、選んだ機器を接続する



Bluetooth携帯電話を接続し、本機に Bluetooth携帯電話から情報が送られてきた場 合、電波強度と電池レベルが表示されます。

□登録したBluetooth機器を削除 する場合

¶ [システム]の[Bluetooth設定]にタッチ する



? 「デバイスリスト」にタッチする



3 削除する機器(①)を選び、[削除](②) にタッチする



確認のメッセージが表示されたら、[Yes]にタッチします。

ハンズフリーを使う

□電話を受ける

電話が掛かってきた画面で[**♪**]にタッチ する



コール情報が表示される(情報を入手できた場合のみ)

着信拒否する場合



着信の自動応答がオンの場合 (→ P.74)

本機は掛かってきた電話に自動的に応答します。



画面に別売のバックモニターまたはパノラマ モニターからの映像が映し出されている間 は、電話の機能は使用できません。

(**→** P.42)

□雷話を切る

通話中の画面で[←]にタッチする



□通話、受話器、マイクの音量調整

通話中の画面でMIC LEVELの[+]また は[一]にタッチする



-10から10の間で音量調整ができます。(初期 値:-4)



 モニターパネルを使って通話、受話器の音量 を調整する。(→ P.12)

□ハンズフリーモードと電話モード の切り替え

通話中の画面で[===]にタッチする



ボタンを押すたびに、通話方法が切り替わります。

□ ノイズリダクション、エコーキャンセルレベルの調整

通話中の画面で[+]または[一]にタッチ して、各項目を調整する



調整項目

EC LEVEL エコーキャンセルレベル (-5から5、 初期値:O)

□トーン信号を送る

诵話中にトーン信号を送信します。

1 通話中の画面で[10キー]にタッチする



2 送信するボタンにタッチする



□電話画面を表示する

| HOME ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[TEL]にタッチする





2 発信方法を選択する



- PBAP 対応機器の場合は発信、着信、不在 着信履歴を表示します*
- 2 電話帳を表示します*
- ③ プリセットダイヤルに登録された番号に発信します(→ P.71)
- 4 電話番号を入力します



- [] にタッチするとBluetooth設定画面が表示されます。(→ P.74)
- * 携帯電話またはスマートフォンがPBAP 対 応機器の場合に選択できます。
- ・ ②[🚾]は、PBAP対応機器の携帯電話でも 携帯電話によっては機能が使用できません。

□電話をかける電話機を選ぶ

携帯電話またはスマートフォンを2台接続している場合に、発信に使用する電話機を選択します。

- ¶ HOME ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[TEL]にタッチする
- **2** [1]または[2]にタッチする



選択した電話機名がハイライト表示します。

□履歴から電話をかける

PBAP 対応機器の場合は不在着信、着信、発信履歴から発信することができます。 PBAP に対応していない機器は使用できません。

- ¶ HOME ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[TEL]にタッチする
- 2 [🕼]にタッチする



3 発信する履歴(①) にタッチして、[♪] (②) にタッチする



[▲]/[✔]にタッチするとリストを移動します。

□電話帳から電話をかける

PBAP 対応機器の場合は電話帳から電話番号を 選んで発信します。PBAP に対応していない機 器は使用できません。

- | HOME ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[TEL]にタッチする
- ▶ [📠] にタッチする



3 [0]にタッチする



▲ ひらがなを選択する



5 発信する相手(①)にタッチして、[』(②) にタッチする



[▲]/[✔]にタッチするとリストを移動します。

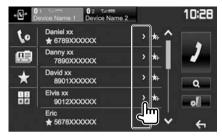


電話帳の検索結果リストは、接続する。 機器によっては、正しいリスト順に表 示しないことがあります。

⇒ ほかの雷話番号を表示する

いくつかの雷話番号が同じ連絡先に登録されている 場合は、電話番号を切り替えることができます。1つ の連絡先に最大10個の電話番号が表示できます。

[>]にタッチする



2 電話番号にタッチする



□プリセットダイヤルから雷話をか ける

プリセットダイヤルに登録された電話番号に発 信します。

あらかじめプリセットダイヤルに電話番号を登 録しておく必要があります。(→ P.72)

- **■** HOME ボタンを押して、ホーム画面ま たは全ソース画面を表示させ、[TEL]に タッチする
- **②** [★]にタッチする



3 発信するダイヤル(①) にタッチして、[♪] (②) にタッチする



□ダイヤルして電話をかける

- | HOME ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[TEL]にタッチする
- ▶ [器]にタッチする



3 電話番号を入力して(①)、[♪](②)にタッチする



- 31桁まで入力できます。
- [▲x]にタッチすると、最後に入力した数字を 消すことができます。
- [O/+]をタッチし続けると、電話番号に "+" と 入力します。

□プリセットダイヤルに電話番号を 登録する

プリセットダイヤルに登録できる電話番号は5 件までです。

- | HOME ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[TEL]にタッチする
- **?** [<a>[<a>[<a>[<a>] <a>[<a>] <a>[<a>[<a>] <a>] <a>[<a>] <a>[<a>] <a>[<a>] <a>[<a>] <a>] <a>[<a>] <a>[<a>] <a>]

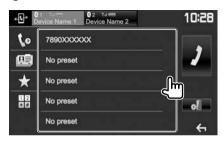


3 登録する電話番号にタッチする



プリセットリスト画面が表示されます。

4 登録する場所を約2秒以上タッチし続ける



Bluetoothオーディオ機器 を再生する



- Bluetooth機器の登録が必要です。
 (→ P 64)
- (→ **P.64**)

 Bluetooth機器の接続と接続解除については

66ページをご覧ください。

□Bluetoothオーディオに切り替える

HOME ボタンを押して、ホーム画面または 全ソース画面を表示させ、[BT Audio]にタッチ する。

【Bluetoothオーディオ再生画面】



- □ 曲名/アーティスト名/アルバム名表示(テキスト情報が入っていると表示します。)表示するテキスト情報が多い場合は[<]にタッチするとスクロール表示します。
- 2 電波強度とバッテリー残量表示
- ③ [》] にタッチすると表示されていない操作ボタン表示します。
- 4 演奏時間
- 5 再牛状態表示

操作ボタンのはたらき

- 再生リストを表示します。再生するファ イルを選択できます。 (→ P.73)
- 前または次のファイルを再生します。 I◀◀ / ▶▶I タッチし続けると、早送りまたは早戻し します。
 - 再生します。

- 一時停止(ポーズ)します。
- タッチするたびにフォルダ(FO-RDM)/ 全ファイル(RDM)/オフを切り替えま す。オンのときには、フォルダ内または 全ファイルが順不同に再生されます。
 - タッチするたびに1ファイル(REP)/フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。

 オンのときには、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。



- ・ Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機 種によっては、操作ボタンや楽曲情報、再生時 間を表示できない場合があります。また、再生 方法(スキップ操作やランダム再生モード切 替など)を操作できない場合があります。
- 再生リストは、実際のBluetooth対応機器の表示順と一致しない場合があります。
- バッテリー残量は、実際のBluetooth対応機器の表示と一致しない場合があります。
- バッテリー残量は、Bluetooth 対応機器を ハンズフリー接続したときに表示されます。

再生するファイルをリストで 選択する

再牛するファイルを選択します。

1 [②] にタッチする



2 カテゴリーを選んでタッチする



[▲]/[✔]にタッチするとリストを移動します。

3 再生するアイテムを選んでタッチする



- 目的のファイルを選択するまで、各階層の項目 を選択します。
- [1]にタッチすると、一つ上の階層に移動します。
- ・アイテム右側の[▶]にタッチすると、フォルダ 内のすべてのファイルを再生します。

Bluetoothの設定をする

- **1** HOME ボタンを押して、ホーム画面を表示させ[※]にタッチする
- 2 [システム]にタッチする



3 [Bluetooth設定] にタッチする



4 各項目を設定する



[▲]/[✔]にタッチするとリストを移動します。

5 [X]または[</br> する

設定項目 (Bluetooth設定)

初期状態に

す。

戻す

設定項目(Bluetooth設定)		
デバイス リスト	[Enter]にタッチすると登録した機器 がリスト表示されます。登録した機器 の接続と接続解除します。 (→ P.66)	
PINJ-F	現在の本機のPIN コードが表示され ます。また、本機のPIN コードを変更 します。(→ P.65)	
デバイス名	本機のデバイス名が表示されます。	
デバイス アドレス	本機のデバイスアドレスが表示され ます。	
自動接続	 ON*: Bluetoothの接続が切れても、電波状態が良くなると自動で再接続する機能です。 OFF: キャンセル 	
Bluetooth 音声出力	Bluetoothオーディオおよび受話音声を出力するスピーカーを設定します。 ・フロント: フロントの左右のスピーカーから出力します。 ・オール*: すべてのスピーカーから出力します。	
着信の自動 応答	ON: 着信時5秒後に自動的に通話可能になります。OFF*: 着信時に手動で通話にします。	
自動ペア リング	ON*: 本機 にiPod touchまたはiPhone、Androidを接続すると、Bluetooth機器として自動的に登録することができます。 OFF: 登録しません。	

[Enter]をタッチし続けると、

Bluetooth機器のペアリング情報や 電話帳データ、通話履歴を削除しま

*お買い上げ時の設定

DVD言語コード表

DVD言語コード表

コード	言語
AA	アファル語
AB	アプバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	<u>アイマラ語</u>
AZ	<u>アゼルバイジャン語</u>
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	 ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ビスラマ語 ベンガル語、バングラ語
ВО	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
デンマーク語	
ドイツ語	ドイツ語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
英語	英語
EO	エスペラント語
スペイン語	スペイン語
ET	エストニア語 バスク語
EU	ハ人ク語
FA FI	ペルシャ語 フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	<u>フィフ 品</u> フェロー語
フランス語	<u>フェロー品</u> フランス語
FY	<u></u> フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラー語
GU	グジャラート語
НА	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	ヒンディー語 クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	ハンガリー語 アルメニア語
IA	国際語

コード	言語
IN	インドネシア語
IE	インターリング語 イヌピアック語
IK	イヌピアック語
IS	アイスランド語
イタリア語	イタリア語
IW	ヘブライ語
JA	日本語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
КО	韓国語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マレー語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE NE	ネパール語
オランダ語	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	(アファン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS →211 L +Z11 ≡₹	パシュト一語
ポルトガル語	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ=ロマン語

コード	言語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
ロシア語	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルボ=クロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
スウェーデン語	スウェーデン語
SW	スワヒリ語 タミール語
TA	
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語
中国語	中国語

ディスクについて

本機で再生できるディスクメ ディア

本機では、下記のディスクを再生できます。

ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明	
	DVDビデオ	0	_	
	DVDオーディ オ	×	_	
	DVD-R	0	MP3/WMA/AAC/	
	DVD-RW	0	「WAV/JPEG/ - MPEG1/2 再生可能	
DVD	DVD+R	0	VRモード対応	
טעט	DVD+RW	0	「(DVD-R/RWのみ) CPRM対応	
	DVD+R DL (2層)	0	ビデオフォーマットの	
	DVD-R DL (2層)	0	- ひ再生可能	
	DVD-RAM	×	_	
	音楽CD	0	8cmディスク非対応	
	CD-ROM	\circ		
	CD-R	0	MP3/WMA/AAC/ WAV/JPEG再生可能	
	CD-RW	\circ		
	DTS-CD	X	_	
CD	ビデオCD (VCD)	0	_	
	スーパービデオ CD	×	_	
	フォトCD	X	_	
	CD-EXTRA	Δ	音楽CD部分のみ再生 可能	
	HDCD	\triangle	通常の音楽CDの音質	
	CCCD	0	_	
その	デュアル ディスク	×	-	
他	スーパー オーディオCD	Δ	CD層のみ再生可能	

○:再生可能 △:一部再生可能

×: 再生できません

本機で再生可能な音楽CDは、下記 マークの入ったCDだけです。下記マークの入っていないディスクは、正しく再生できない場合があります。









- ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RWおよびDVD-R/RWは再生できません(ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください)。
- その他、CD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/ RWは、記録状態によっては再生できない場合があり ます。

DVDのリージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号(国ごとに割り当てられた番号)は「2」(または2を含むもの)と「ALL」です。

DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

DVDディスクのマーク

=10	内容	
記号	内容	
ALL	リージョン番号を表します。この マークが付いているディスクはどの DVDプレーヤーでも再生できます。	
<u>(8)</u>	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聞くことができます。	
32	収録されている字幕スーパーの言語 数を表します。32カ国語まで収録で きます。	
<u>00</u>	複数のアングルで撮影された映像が 記録されていれば、お好みのアング ル(角度)で見ることができます。	
16:9 LB	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ(4:3)で見た場合、ワイド映像(16:9)は上下に黒帯の入る(レターボックス)映像となります。	

操作規制マークについて

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。



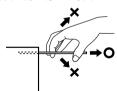
使用できないディスク

- 特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。
- 記録面(レーベル面の反対側)が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。
- レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。
- インクジェットプリンタでレーベル面に印刷可能なCD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの 記録面に傷を付ける原因となります。



ディスクの取り扱いについて

- ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。
- 取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)
- CD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
- 記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テー プなどを貼らないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクの ラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕が あるものはお使いにならないでください。そのま まディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り 出せなくなったり、故障することがあります。

ディスクのお手入れ

- ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーや ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

ディスクの保存

- 直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高くなる場所には置かないでください。特にCD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクに比べて高温、多湿の環境に弱く、車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。
- 長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

ディスク用アクセサリーにつ いて

- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用 アクセサリー (スタビライザー、保護シート、レン ズクリーナーなど) は故障の原因となりますので 使用しないでください。
- 8cmCDアダプターは使用しないでください。 8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り 出せなくなるなど、故障の原因になります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系 部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなる など、故障の原因になる場合があります。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。

メディアおよびファイルについて

本機で再生できるメディア

本機で再生するオーディオ/ビデオファイルを記録するメディアに関する注意事項を説明します。

使用できるメディア

使用できるディスク

使用できるオーディオファイルを収録するためのメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWです。

使用できるUSB機器

本機で使用できるUSB機器の条件は次のとおりです。

- USB1.1/2.0
- MSC (USBマスストレージクラス)対応品
- 最大消費電流が1.5A以下

上記を満たしていないUSB機器は接続しないでください。正しく再生できません。

また、上記を満たしているUSB機器でも、機種や状況によって、正しく再生できない場合があります。

使用できるフォーマット

ディスクフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet
- Romeo
- UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できる文字は、ライティングソフトの説明書および「ファイル名とフォルダ名の入力」をご覧ください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大フォルダ数:250
- 1フォルダ中の最大ファイル数:999
- 全ファイル総数:5000

前記のフォーマット以外で書き込まれたオーディオファイルやビデオファイルは、正常に再生されなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

USB機器のフォーマット

本機で使用できるUSB機器は、以下のフォーマットです。

• FAT32、FAT16

ただし、本機で再生できるUSB機器には以下の制限 があります。

• 最大フォルダ数:250

1フォルダ中の最大ファイル数:999

• 全ファイル総数:5000

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、カナ文字、または日本語で入力できます(最大50文字/1バイト文字の場合)。これら以外の文字で入力されたファイル名およびフォルダ名は、正常に表示されません。また、使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をで覧ください。

また、オーディオファイルやビデオファイルと認識されて再生されるファイルやにデオファイルと認識されて再生されるファイルは、".mp3"、".wma"、".m4a"、".wa"、".mpg"の拡張子が付いたものだけです。各形式のファイルには、正しく 拡張子を付けてください。間違った拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生されてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。なお、本機で表示できる文字数はファイル名によって異なります。

ID3/ WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x、2.2、2.3、または2.4規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字はシフトJISです。ただし、正しく表示できない文字もあります。

メディアに収録するファイルについて

本機は、オーディオファイルやビデオファイルが収録されているメディアを挿入/接続すると、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。このため、再生するメディアに多くのフォルダやオーディオファイルやビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。また、次のオーディオファイルやビデオファイルの再生に移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があり

著作権保護されたファイルについて

ます。

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製(録音)、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

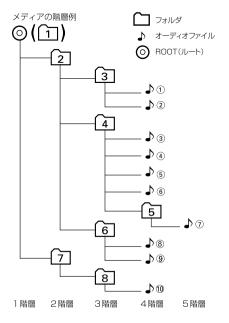
オーディオ/ビデオファイルを再生する順番

再生、ファイルスキップ、フォルダスキップでファイルやフォルダが選択される順番は、ディスクではライティングソフトで書き込まれた順番、USB機器ではファイル名の昇順です。このため、再生されると予

想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、"01" ~ "99" などとファイル名の頭に再生する順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、再生する順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は、次のようになります。



本機で再生できるオーディオ/ ビデオ/ピクチャファイル

本機で再生できるメディアとオーディオ/ビデオ/ ピクチャファイルの種類は以下通りです。

オーディオファイル

- 再生できるオーディオファイル AAC-LC、MP3、WMA、リニアPCM (WAV)
- 拡張子: m4a、mp3、wma、wav
- ・ビットレート

AAC: $16 \sim 320 \text{ kbps(VBR対応)}$ MP3: $8 \sim 320 \text{ kbps(VBR対応)}$ WMA: $5 \sim 320 \text{ kbps(VBR対応)}$

サンプリング周波数 AAC: 32 ~ 48 kHz

MP3/WMA: $8 \sim 48 \text{ kHz}$

WAV: 44.1 kHz

ビデオファイル

- 再生できるビデオファイル: MPEG1、MPEG2
- 拡張子: mpg、mpeg
- 音声フォーマット MPEG 1 Audio Laer-2/Dolby Digital

ピクチャファイル

- 再生できるピクチャファイル: JPEG
- 拡張子:jpg、jpeg プログレッシブJPEG、ロスレスJPEGは対応していません。
- 再生可能画像サイズ 32 x 32~8.192 x 7.680ピクセル

アルバムアート画像

- 再生できるピクチャファイル: JPEG
- 拡張子: ipg、ipeg
- 再生可能画像サイズ
 32 x 32~1,232 x 672ピクセル(500KB以下)

ご使用上の注意事項

- オーディオ/ビデオ/ピクチャファイルのフォーマットによっては、本機で再生/表示できない場合があります。
- CD-DAとオーディオファイルを1枚のディスクに 記録した場合、CD-DA部分のみが再生されます。
- 本機で再生するオーディオ/ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期 せぬ自体で、ファイルが破壊される場合があります。
- USBケーブルを延長する場合は、USB延長ケーブルCA-U1EX (別売品:最大電流500mA)をご使用ください。USB規格以外のケーブルを使用したり、総延長が5mを超えると、USB機器が正常に動作しなくなる場合があります。
- USB機器は、車内に放置しないでください。直射 日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- USBハブを介してUSB機器を認識させることはできません。
- 2つ以上のパーティションに分かれているUSB機器は使用しないでください。

Androidについて

本機でコントロールできる Androidについて

本機からコントロールできるAndroidは以下のとおりです。

- Android OS 4.1 以降に対応しています。だだし Android 機器によってはOS が 4.1 以降であっ ても、AOA 2.0に対応していないことがあります。
- で使用のAndroid 機器がマスストレージクラスと AOA 2.0 の両方に対応しているときは、優先的 にAOA 2.0 で再生されます。

Androidの接続ケーブルについて

本機にAndroidスマートフォンを接続するときは、Androidスマートフォンに付属/または市販のUSB接続ケーブルが必要です。

接続ケーブルは、車内に放置しないでください。

故障かな?と思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

共诵

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないこと を確認した後、同じ容量のヒューズと 交換してください。
	電源コード、入出力ケーブルなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認し てください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してくださ い。(→ P.47)
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明る さが変わります。	 コントラスト、明るさを調整してください。(→ P.47) パネルの角度を調整してください。(→ P.14、P.57)
映像の色調がおかしい。	_	画質を調整してください。 (→ P.47)
別売のバックモニターまた はパノラマモニターに切り	正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談くださ い。
替わらない。	リアカメラ割込み設定が[OFF]になっ ている。	リアカメラの割込み設定を[ON]にし てください。(→ P.40)
音が出ない/音が小さい。	バランス、フェダーが片方に寄ってい る。	バランスやフェダーを正しく調整し てください。(→ P.53)
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにか み込んでいる。	お買い上げの販売店にご相談くださ い。。

AV機能

症状	考えられる原因	対処方法
映像が映らない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。

ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクの再生中に振動で 映像や音が切れる。	取り付けが不安定になっている。	お買い上げの販売店にご相談ください。なお、駐停車中でも音飛びする場合やディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおして ください。
	ディスクが異常に汚れている。	ディスクを取り出し、ディスクをク リーニングしてください。
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置(約 1時間)してから使用してください。
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVDの禁止マーク*◎"が 画面に表示されて、操作が できない。	ディスクが禁止している操作や、無効 な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。
トラックなどの名称が正し く表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。

ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	オーディオ/ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認して ください。(→ P.78)
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。 (→ P.79)
	ディスクに傷や汚れがある。	ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。 (→ P.77)
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。 (→ P.77)
ファイルの再生が始まるまで時間がかかる。	メディアに記録されているフォルダ/ ファイル/階層が多い。	最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。

iPod/iPhone

症状	考えられる原因	対処方法
iPod/iPhoneが認識されない。	接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPodが正しく動作していない。	接続しなおしてください。それでも iPod/iPhoneが認識されない場合は、 iPod/iPhoneをリセットしてくださ い。
iPod/iPhoneをコントロールできない。	iPod/iPhoneにヘッドフォンなどが接続されたまま、本機に接続した。	iPod/iPhoneを本機から取り外し、 iPod/iPhoneからすべての機器を取 り外してから接続しなおしてくださ い。
	iPod/iPhoneが異常状態になっている。	 iPod/iPhoneメニューに表示される リセットではなく、iPod/iPhone本 機のリセットを行ってください。 iPod/iPhoneを本機から取り外 し、iPod/iPhoneの電源を入れな おしてください。
iPod/iPhoneの曲を再生できない。	接続ケーブルが正しく接続されていない。	iPod/iPhoneをUSB入力またはUSB 入力とiPod/AV-IN入力に正しく接続 してください。
音が歪む。	iPodのイコライザー機能がオンになっ ている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかか る。	_	充電を目的とする場合は、iPod/ iPhoneの再生を停止することをお勧 めします。
iPod/iPhoneの充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。

USB

症状	考えられる原因	対処方法
USB機器を認識しない。	USB入力に正しく接続されていない。	USB機器をUSB入力に正しく接続し てください。
	USB延長ケーブルが長いため、データ の品質が悪くなっている。	USB延長ケーブルを使用しない接続 をしてください。

Android

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	Androidスマートフォンの接続ケーブルが正しく接続されていない。	接続するAndroidスマートフォン専 用の接続ケーブル (市販品) で接続し てください。
	_	接続しているAndroidスマートフォンから再生の操作をしてください。
	Androidスマートフォンの開発者向オ プションがオンになっている。	Androidスマートフォンの開発者向 けオプションをオフにしてください。
	Androidスマートフォンが正しく接続 されていない。	Androidスマートフォンを正しく接続 して、正しい設定を選んでください。

Bluetoothオーディオ/ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth機器が登録できない。	パスキーまたはPINコードが合ってい ません。	Bluetooth対応機器によっては、パスキーまたはPINコードが固定されている場合があります。Bluetooth対応オーディオプレーヤーの取扱説明書にパスキーまたはPINコードが記載されている場合は、そのコードを設定してください。記載されていない場合は"0000"を試してください。
Bluetoothオーディオプレー ヤーの音が途切れる。	本機とBluetooth対応オーディオプ レーヤーの距離が遠すぎます。	Bluetooth対応オーディオプレー ヤーを本機に近づけてください。
	他のBluetooth機器が通信を妨げています。	他のBluetooth機器の電源をオフに してください。 または、他のBluetooth機器を遠ざけ てください。
	他のBluetooth機器と通信中です。 または、他のプロファイルで通信中で す。	たとえば、電話帳の登録中などには、 音声が途切れる場合があります。
	音量調整が小さくなっています。	通話中に調整してください。

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

メッセージ	考えられる原因	対処方法
認証エラー	サポートされていないiPod/iPhone/ Android スマートフォンを接続した。	「本機でコントロールできるiPod/iPhoneについて」または「本機でコントロールできるAndroid について」で、接続しているiPod/iPhone/Android スマートフォンが本機で使える機種かどうか確認してください。(→ P.80)
接続されていません	 iPod/iPhone/Android スマート フォンが接続されていないときに、 ソースをiPodまたはAndroidに切り 替えた。 iPod/iPhone/Android スマート フォンを取り外した。 	iPod/iPhone/Android スマート フォンを接続してください。
デバイスがありません	USB機器が接続されていないときに、ソースをUSBに切り替えた。USB機器を取り外した。	USB機器を接続してください。
映像信号がありません	AV-IN端子に接続した外部AV機器の 映像が再生されていない。リアカメラの映像信号が入力されて いない。	お買い上げの販売店にご相談くださ い。
接続エラー電圧エラー	スピーカーのコードショートまたは車両のシャーシに接触したために保護回路が働いた。	
パーキングオフ	走行中に映像を見ようとした。	走行中は映像を見ることができません。
USBデバイスエラー	サポートされていないUSB機器を接続 した。	USB機器を取り外し、本機の電源をオフした後、USB機器を接続してください。それでもエラー表示が消えない場合は、USB機器をフォーマットするか、他のUSB機器を使用してください。

用語解説

用語解説

主な用語を解説します。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略称で、高圧縮かつ高音質が特長の音声圧縮方式です。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮方式の国際 規格です。

MPEG (エムペグ)

規格を作成した組織「Moving Picture Experts Group」の略称で、ビデオ、オーディオ、およびシステムまで含めた国際規格です。

MSC (マスストレージクラス)

追加プログラムなしで、パソコンに外部記憶装置として 認識されるUSB機器の規格です。

WAV (ウェーブ)

「RIFF waveform Audio Format」のの略称で、米国マイクロソフト社と米国IBM社が開発した音声データのフォーマットです。

WMA (ダブリュエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略称で、米国Microsoft 社が開発した音声圧縮符号化方式です。

タイトル

DVDビデオディスクに記載されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

DVDビデオディスクにタイトルの内容を場面や曲ごとに さらに小さく区切った単位です。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラックナンバーと呼びます。



Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社JVCケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

Windows Media™は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries

"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries

Android is trademark of Google Inc.

iTunes is a trademark of Apple Inc.

Lightning is a trademark of Apple Inc.

Font for this product is designed by Ricoh.

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Royi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited. THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED. IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/ OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO, NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA. LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

仕様

モニター部

画面サイズ	7.0V 型ワイド 156.6mm (幅)×81.6mm (高さ)
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個 800H×480V×RGB
有効画素数	99.99%
画素配列	RGBストライプ配列
使用光源(照明方式)	LED

DVDプレーヤー部

D/Aコンバータ		24Bit
オーディオフォーマ	ット	リニアPCM/Dolby Digital/MP3/WMA/AAC/WAV
ビデオフォーマット		MPEG1/MPEG2
ワウ&フラッター		測定限界以下
	96kHzサンプリング時	20Hz~ 22,000Hz
周波数特性	48kHzサンプリング時	20Hz~ 22,000Hz
	44.1kHzサンプリング時	20Hz~ 20,000Hz
高周波歪率		0.01%(1kHz)
S/N比		99dB (DVD-Video 96kHz)
ダイナミックレンジ		99dB (DVD-Video 96kHz)
ディスクフォーマット		DVD-Video/DVD-VR/VIDEO-CD/CD-DA/CPRM
サンプリング周波数		44.1kHz/48kHz/96kHz
量子化ビット数		16/20/24ビット 直線

USB I/F部

USB規格	USB2.0 High Speed
USBクラス	マスストレージクラス
ファイルシステム	FAT16/32
最大供給電流	DC5V 1.5A
D/Aコンバータ	24Bit
オーディオフォーマット	MP3/WMA/AAC/WAV
ビデオフォーマット	MPEG1/MPEG2

FMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)	76.0MHz~99.0MHz (100kHz)
実用感度 (S/N: 30dB)	8.2dBf (0.71 μ V/75 Ω)
感度(S/N:50dB)	17.2dBf (2.0 μ V/75Ω)
周波数特性	30Hz~ 15kHz
S/N比	64dB (MONO)
選択度(±400kHz)	80dB以上
ステレオセパレーション	40dB (1kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)	522kHz~ 1629kHz (9kHz)
実用感度 (S/N: 20dB)	29dBμV

映像部

映像方式	NTSC/PAL
外部映像入力レベル (Φ3.5mm端子)	1Vp-p/75Ω
外部音声最大入力レベル (Φ3.5mm端子)	2V/25kΩ
外部映像出力レベル (RCA端子)	1Vp-p/75Ω

オーディオ部

最大出力		50W×4
定格出力		30W×4 (4Ω、1kHz、10%THD)
スピーカーイン	ンピーダンス	4~8Ω
	バンド	13バンド
グラフィック	周波数 (1-13バンド)	62.5/100/160/250/400/630/1k/1.6k/2.5k/ 4k/6.3k/10k/16k (Hz)
	ゲイン	-9/-8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/-1/ 0/1/2/3/4/5/6/ 7/8/9 (dB)
	Qファクター	1.35/1.5/2.0

Bluetooth

対応プロファイル	HFP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP, SDP, GAP
対応コーデック	SBC/AAC
SCMS-T	対応

電源/寸法/質量

電源電圧	14.4V (10.5V~ 16V)
最大消費電流	10A
埋込寸法(幅×高さ×奥行)	178mm×100mm×162mm
サブパネル部(幅×高さ×奥行)	206mm×104mm×162mm
使用温度範囲	-10 ~+60°C
質量(重さ)	2.2kg

- ・これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。
- ・モニター部は、高精度の技術で作られておりますが、一部に非点灯、常時点灯の表示(画素)が存在することがあります。 (故障ではありません。あらかじめご了承ください。)

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証について

保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(→ P.81) を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。 あらかじめご了承ください。

保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は…

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にご遠慮なくお問い合わせください。